

# IBURICATION

発表者：中田涼介 小澤怜 澤田拓弥 大森涼 (室蘭工業大学)

## 活動内容

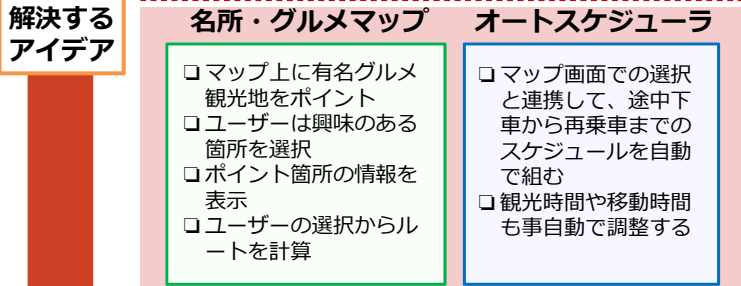
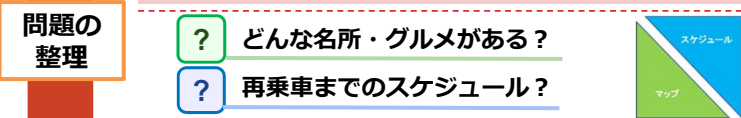
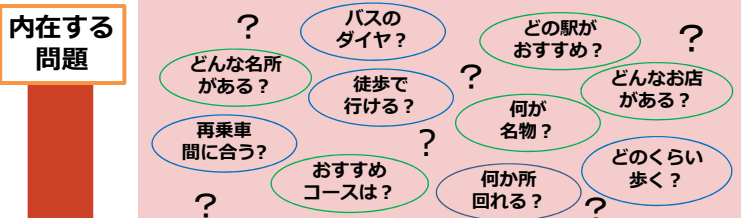
北海道胆振地方は北海道新幹線の札幌延伸路線に含まれていない。ゆえに、電車を利用する観光客が大きく減少することが予想される。新幹線開通の余波にも耐えうるぐらい胆振地方路線を、新幹線開通前に活性化させておく必要がある。そこで、私たちは胆振地方路線を活性化させる車内アプリを2つ提案する。本演習は企業などのプロジェクト課題 (Project-based) を解決する演習である。今回はJR北海道から課題の提供を受け、車内で利用するシステムという課題を設定した。なお、本演習ではシステムデザインを中心とした開発を行った。



新幹線が胆振を通らない！  
観光客減少が予想される

## PSO (Promote StopOver system)

目的：途中下車する観光客を増やしたい



観光客が気軽に途中下車

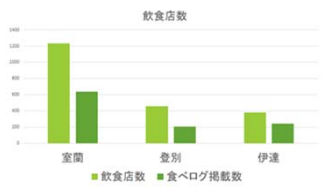
## 何が得られた？ (学び)

演習の時間外には胆振地域の現状を詳細に分析し、企業の抱える課題の解決策と真の顧客ニーズを見出した。演習内ではCOC北海道の学生と共に内部制約と外部制約を調査し、システムの実現性を高めてきた。更に、システムデザインの講義を通じて、上方展開と下方展開によるターゲットの再分析を行った。これらの学びは、本学の通常のカリキュラムにはない特色あるものであった。

## Iburi Auction Train

目的：胆振の食をPRしたい！

胆振地方には観光資源として豊かな自然の恩恵を受けた、野菜や魚介類を始めとした豊富な食材がある。飲食店数が多いが食べログに掲載されていない、あるいは詳細が書かれていないお店が大半である。



地域の飲食店と観光客を繋げる  
車内エンターテインメントを提案



## アイデア・機能・デザイン



**観光客** お店が提供する情報を入手。商品の紹介文、写真、現在の最高金額を確認可能。ユーザはその情報を元に入札。最も高い価格を入札したユーザに販売

**出品者** オークションに出品する料理を登録。写真、紹介文、出品日時など観光客へ教えたい情報を詰め込んだ記入フォームを用意



スマホ操作に不慣れな方を意識したUIデザイン。登録後は落札通知を待つスタイル。反応が薄い場合にはダッチオークションシステムへの切替

## 胆振地域全体の活性化

観光客	連携店	JR
<ul style="list-style-type: none"> <li>参加型の観光体験</li> <li>モノ消費→コト消費</li> <li>北海道の長い移動時間の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT技術活用した事による集客効果への期待</li> <li>新規客層の獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR側の提案を満たした低い実装コスト</li> <li>他地域での活用が期待できるビジネスモデル</li> </ul>

## 先生・後輩への一言

enPiTでは他の授業で出来ない貴重な体験ができます。1つは企業や自治体との連携です。実際に使われる物をとということ強く意識するので、よりリアルな開発体験ができます。もう1つは他大学との交流です。これは普通の授業ではない、かなり固有の体験です。コミュニティが広がるのはもちろん、他大学の学生の活動を見て、自己認識をすることができます。